



平成20年(2008年) 6月18日発行

ふくしまファンクラブ 会報

第5号



絹の町として有名な川俣町。ここ数年は、世界一長い焼き鳥を競っている町としても知られています。その焼き鳥として使用されているのが、川俣シヤモ。今回は、川俣シヤモに詳しい(株)川俣町農業振興公社の斎藤正博代表取締役専務にお話を伺いました。

◆ 川俣とシヤモ ◆

川俣はもともと天領で、古くから絹の町として栄えてきました。絹商人たちの娯楽として、鬮鶏とらけが行われていたのが、シヤモと川俣町の関わりが始まりのようです。

時はたち、昭和58年。川俣で何かごちそうとして出せるものをと考えた時に、今までのシヤモとの関わりなどから、シヤモの研究が始まりました。研究は進められ、昭和62年に公社が設立、本格的に「川俣シヤモ」

の売出しを開始しました。

◆ 川俣シヤモを育てる ◆

その後も改良を加えられた川俣シヤモは、現在、種卵から肥育、出荷まで川俣町内で行われています。孵化してから雛となり28日間は雛生産施設で育てられます。その後は、町内に17軒ある肥育農家へと引き渡され、一般ブロイラーの倍にあたる4か月もの間、平飼いで伸び伸びと育てられています。シヤモの品質を統一するため、全ての農家で同じエサを使用しています。この適度な運動とバランスのとれたエサが、おい

しいシヤモをつくります。

シヤモは、環境の変化に敏感なため、気温や風などの影響を受けないよう大切に育てられています。

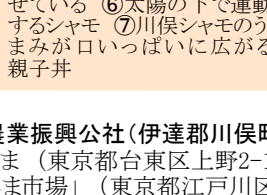
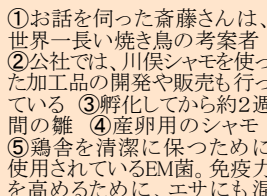
◆ 川俣シヤモを食す ◆

シヤモ肉は、ほかの鶏肉と比べて歯ごたえとコクがあります。味わう方法はいろいろありますが、一番味がわかるのは、塩焼き。町では、親子丼やシヤモラーメンも売り出し中です。県外でも取引先は多く、首都圏などでは有名レストランなどで食べることができます。最近では、地鶏で有名な名古屋

の料理店でも取り扱ってもらっています。

また、今年の1月に福島県のブランド認証を受けたことで、さらに自信を持って皆さんにお勧めしています。

「今年も8月30日の川俣シヤモまつりで、世界一長い焼き鳥に挑戦します」と、斎藤さん。川俣シヤモ応援隊の皆さんにもさらに川俣シヤモをPRしてもらおうと考え中のようです。首都圏では、サテライトショップ「ふくしま」や「アンテナショップ」で、ぜひご賞味ください。



①お話を伺った斎藤さんは、世界一長い焼き鳥の考案者
②公社では、川俣シヤモを使った加工品の開発や販売も行っている
③孵化してから約2週間の雛
④産卵用のシヤモ
⑤鶏舎を清潔に保つために使用されているEM菌。免疫力を高めるために、エサにも混ぜている
⑥太陽の下で運動するシヤモ
⑦川俣シヤモのうまみが口いっぱい広がる親子丼

<取材協力> (株)川俣町農業振興公社(伊達郡川俣町小綱木字泡吹地8 電話024-566-5860 <http://www.kawamata-shamo.co.jp/>)

※1 サテライトショップ「ふくしま」(東京都台東区上野2-12-14 ふくしま会館1階 電話03-3834-5416)

※2 アンテナショップ「ふくしま市場」(東京都江戸川区東葛西9-3-3 イーヨーカドー葛西店内 電話03-5659-2762)



ふくしまに住む

Reason to Live in Fukushima

喜多方と言えば「蔵のまち」「ラーメンのまち」。そして、2006年1月に旧喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村が合併し、特色ある地域からなる新生喜多方市として生まれ変わりました。また最近はその多様性を武器に、定住推進に力を入れています。今回は、今年5月に喜多方市が設置した、定住を希望する人と地域との橋渡し役である「定住コンシェルジュ」の3名をご紹介します。



雄国（熊倉町）からみえる風景

堀越清視さん
(熊倉町在住 65歳)

東京都出身。約5年前に大手建設会社の研究職を退職し、奥様と一緒に移住。現在は米にんにく、そばなどの無農薬栽培を行っていて、素人そば打ち名人二段の腕前を持っています。

定住を希望する方へのメッセージ

定住する以前に、1年半ぐらい農業体験やそば打ちの勉強のために喜多方と東京の自宅を行ったり来たりしました。交流を続けている間に地域の方々ともずいぶん仲良くなっておかげで、空き家を紹介してもらったりしました。現在も近所の方とは仲良くお付き合いしています。いきなり定住とは考えず、少しずつ地域の方と信頼を築いていくのが近道になるかもしれません。



自宅前の畑にて

せん。

谷野晃子さん
(山都町在住 32歳)

出身は神奈川県。地元の農協に勤務時に農業の魅力に目覚め、移住を決意。縁あって10年ほど前、山都町に移住。現在は、地元農家の男性と結婚して2児の母になっています。

定住を希望する方へのメッセージ

希望を持って会津に移住してきましたが、農業の厳しさ、会津の冬の厳しさなど、くじけそうになったことがありまます。そんな時励ましてくれたのが一緒に移住してきた仲間と、移住の先輩である浅見さん(後出)でした。自分も今までの経験を話すことで、定住に興味がある方の手助けができればと思います。



谷野さんとお子さん

浅見彰宏さん
(山都町在住 39歳)

出身は千葉県。自給自足的な農業ができ、かつ雪が降る地域を求めて約12年前に単身で移住。現在は結婚し2児の父となり、養鶏や無農薬有機栽培を行う傍ら、地域活動にも積極的に参加しています。

定住を希望する方へのメッセージ

田舎暮らしはもろもろいい点もありますが、悪い点もあります。相談などがあれば、これまで自分が経験してきたありのままをお話ししたいと思っています。雪が降る地域は嫌われる傾向にあるようですが、考え次第。積雪期は、土に土つて貴重な休憩の時であり、地力を蓄える時でもあります。



雛を抱く浅見さん

雪景色もなかなかいいですよ。

● 肥沃な大地
● 喜多方へようこそ！

飯豊連峰、雄国沼、蔵の街並み、新宮長床、熱塩、日中温泉、喜多方ラーメン、山都そば、日本酒、農家民宿にバルーンなどなど、調べれば調べる程、喜多方市が多様な魅力に囲まれた地域であることがわかります。

まずは、この肥沃な喜多方市に観光に来てみるのはいかがでしょうか？

そして、もし定住に興味があるという場合には、まずは喜多方市観光交流課までご連絡ください。内容によつて3人の定住コンシェルジュがご相談に応じます。



喜多方市の定住を担当する 富田さん

喜多方市観光交流課グリーン・ツーリズム推進室(担当:富田)
電話 0241-24-5237 FAX 0241-24-5284
<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/8/6574/index.html>



ふくしまをしる 識



徳一菩薩坐像 (湯川村・勝常寺蔵)

徳一大師

ふくしま歴史探訪

今年4月、国の史跡指定を受けている磐梯町の慧日寺跡に、寺の中央伽藍である金堂が、平安時代の奈良・京都の寺院と並ぶ往時の優美な姿でよみがえり、一般公開されました。今回は、この慧日寺の開祖であり、仏都会津の基礎を築いたと言われている徳一大師を紹介します。

◆◆◆慧日寺

807年徳一開基と伝えられる。近くに磐梯山などが控えており、山岳修行の適地であった。平安中期には寺僧300、僧兵は数千にもものぼったという。平将門の三女滝夜叉姫も一時、寺に身を寄せたことがある。源平の戦乱の際に平家側について敗れてから衰退が始まり、戦国時代には伊達政宗の会津攻めにより大部分が焼失した。明治期の廃仏毀釈により廃寺となったが、大正期に磐梯山恵日寺として復興した。

◆◆◆恵美押勝(藤原仲麻呂)

奈良時代の貴族。藤原(中臣)鎌足は曾祖父、藤原不比等は祖父にあたる。聖武天皇讓位後、叔母である光明皇后(聖武天皇妃)の寵愛を受け孝謙、淳仁天皇治世下で権勢をふるっていたが、光明皇后の死後、孝謙上皇に取り入った弓削道鏡(ゆげのどうきょう)の権勢が強まったために、764年(天平宝字8年)権力奪還を目指して軍を起こした(恵美押勝の乱)が、捕らえられ一族は皆殺しとなった。この時、徳一は処刑を逃れて東大寺に預けられたとも言われている。

◆◆◆三一権実論争

人間の種類は大別して三種類あり、功德や成仏のための方法はそれぞれに応じたものが必要である(三乗)と主張する徳一と、人を救済するための仏法に差はなく、ただ一つのものしかない(一乗)と主張する最澄による、当時の日本の仏教界における最大ともいえる宗教論争。

徳一菩薩

徳一大師は名門藤原南家、恵美押勝(藤原仲麻呂)の子という説が有力ですが定説とまでは至っていません。しかし、奈良の興福寺や東大寺で修行したという記録は残っており、若くして都を離れ東国に向かい、茨城県筑波周辺で修行・布

教を行った後、福島県いわき地方などを経て会津にやってきたようです。華美や贅沢を嫌い、民衆の救済に心血を注いだ徳一は人々から「徳一菩薩」とまで呼ばれるようになり、今に語り継がれています。

最澄、空海とも大激論

一般民衆への布教を行う一方、徳一大師は会津の地にながら、空海など中央の高僧と仏教教義について高度な議論を繰り広げました。特に三一権実論争といわれる最澄との激しい論争は5年にもわたりました。徳一の名は一躍有名になりました。当時最高の学識を持ちつつも、貴族など中央の支配階級でなく、東国の庶民の救済にこだわったところから

も徳一大師の気高さや高潔さが偲べれます。

会津の人々の心の一部に

徳一大師が開基となったといわれる寺院は会津地方を中心に福島県内に37あります。国宝の薬師如来像、日光菩薩像、月光菩薩像などがある湯川村の勝常寺、通称虚空蔵様と呼ばれる柳津町の圓蔵寺などの寺院には今も多くの人々が訪れ信仰を寄せています。

そして、慧日寺金堂の再建は、地元の人々の長年の宿願が叶ったものでした。完成に至るまでには、旧金堂跡に建てていた磐梯神社の移転、再建にかかる文化庁からの許可、建設のための財源確保など、乗り越えなければならぬ問題

が数多くありましたが、歴代の町長をはじめ、地元の人々の並々ならぬ熱意が1200年前に建てられた史跡の再現を実現させました。外からは見えませんが、実は復元金堂の屋根を葺いている杉板の裏面には町長など関係者や地元の子どもたちの熱いメッセージが記されています。

会津の人たちの頑固さや我慢強さは、厳しい環境の中、信念を曲げずに意志を貫いた徳一大師にそのルーツがあるのかもしれない。徳一という名前を知らなくても、会津の人々は知らず知らずのうちに徳一の心に包まれながら生きています。

この夏、徳一に会いに仏都会津を訪れてみるのはいかがでしょうか。



慧日寺跡金堂 (磐梯町)



金堂屋根の軒先



勝常寺 (湯川村)



圓蔵寺 (柳津町)

取材協力：磐梯山慧日寺資料館 耶麻郡磐梯町大字磐梯宇寺西38、勝常寺、湯川村教育委員会、柳津町
参考文献：『1200年の時を超えよみがえる慧日寺金堂』福島民報連載



馬場村長

今回から福島県内の市町村長さんへのインタビュー記事を連載いたします。

第一回目は、5月に古民家を利用した田舎暮らし体験住宅をオープンさせた、奥会津にある昭和村の馬場孝允村長にお話を伺いました。



市町村からの てがみ

―田舎暮らし体験住宅を整備されたきっかけを教えてください―

残念ながら、村では少しずつ人口が減り続けています。それにとまって、空き家も増えています。数年前からこの空き家をどうしようかという議論を村内で行ってきました。以前、たまたま古民家を寄贈してくれた方がいたので、これを利用して村に人を呼び込もうということになり、国や県の協力もいただきながら整備しました。

―宿泊期間を最低一週間にしたのはなぜですか―

昭和村は、自然も豊かだし食べ物もおいしいし、いいところはいっぱいありますが、一番のウリは「人柄」だと思っています。しかし、これを1日2日でわかってもらうのは、なかなか困難です。最低1週間から10日ぐらい居ていただければ、絶対にあつてもらえるという自信があります。

―「カスミソウ」や「からむし織」も素敵ですね

「からむし織」に関しては、15前から「織姫」「彦星」という制度を作つて村内外からの伝統継承者を募集してきました。

織姫の中には研修期間が終わつても村に残ってくれる人もおり、村を支えてくれています。また長年この制度を存続しているおかげもあつてか、村の人

たちは外部から来た人たちに對してとても友好的です。ある程度滞在していただければ絶対村を好きになります。みなさん、ぜひお越しください。



■ からむし織

昭和村の伝統工芸。苧麻(ちよま)という植物の繊維を使った織物。本州では昭和村が唯一の苧麻の栽培地である。600年以上の伝統がある。



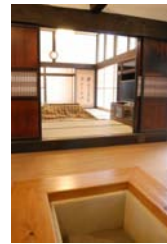
■ 「織姫」「彦星」制度

からむし織の技術研修を通じて、郷土料理や生活工芸など山村での生活を5月から翌年3月まで11ヶ月間体験する制度。平成6年から15年間続いており、体験期間が終わっても、16名が村に残り、からむし織に携わっている。



田舎暮らし体験住宅

- 利用期間 原則1週間以上1年未満
- 賃料(施設貸切料金)
 - [1週間以上1ヶ月未満] 週額52,500円(税込・光熱費など含む)
 - [1ヶ月以上1年未満] 月額73,500円(税込・光熱費など別)
- 問い合わせ先(管理者)
 - NPO法人苧麻俱樂部
 - 電話/FAX 0241-57-2240 電子メール showa-cb@flute.ocn.ne.jp
 - http://www.vill.showa.fukushima.jp/inaka/welcome.stm



ふくしまのうまいもん プレゼントクイズ

クイズに答えてくれた方の中から抽選で2名様に、川俣シャモ製品詰め合わせをプレゼント!

問題

今年の8月30日に川俣町で開かれる祭りの名前は何か? ヒントは1ページ..

答:川俣○○まつり



応募方法 官製はがきに郵便番号、住所、氏名、電話番号、会員番号、クイズの答え、今回の会報の感想などを明記し、下記のあて先へお送りください。

応募締切 7月31日(木) 必着
あて先 〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16
福島県観光交流課

ふくしまファンクラブ「プレゼント」係
*当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。お預かりした個人情報は、賞品の発送などファンクラブに関する事務以外に使用することはありません。福島県個人情報保護条約に基づき、個人情報の目的外利用はいたしません。